授業科目名・形態	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	藤田 博章	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

同科目Ⅲで学習した内容をベースに、本科目では、事例を取り扱いながら、より実践的な理論・技術を習得できるように講義を進めていく。事例に向き合うことを通じ、クライアントの立場に立った支援方法を学んで欲しい。複雑化、重症化したクライアントが抱える課題には、多様なニーズが含まれている。事例検討から学び得たことを実践に活かせるよう、知識・技術を高めることを目指す。

【到達目標】

- 1) 社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解する。
- 2) 個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための事例分析の意義や方法を理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 会議の種類と方法
- 第2回 ミクロ・メゾ・マクロの会議
- 第3回 事例分析、事例検討
- 第4回 事例研究の基礎知識
- 第5回 ネゴシエーション
- 第6回 コンフリクト・レゾリューション
- 第7回 ファシリテーション
- 第8回 プレゼンテーション
- 第9回 ソーシャル・マーケティング
- 第10回 事例分析①：高齢者テーマ
- 第11回 事例分析②：障害者テーマ
- 第12回 事例分析③：包括的家族支援テーマ
- 第13回 事例分析④：生活困窮テーマ
- 第14回 事例分析⑤：複合課題
- 第15回 まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義と演習で行う。

【授業準備】

1. 受講するすべての学生は各回の授業において参照する教科書の該当ページを「授業前こ一度は読んでくること」
2. 余裕のある学生は教科書の該当ページにおけるわからない語句などを「専門書や辞典などを用いて調べておくこと」
3. 社会福祉専門職になりたいとする高い意欲のある学生は、日頃から新聞などで報じられる社会福祉に関する問題に関心を持ち、「社会問題とソーシャルワーク専門職との関係について確認すること」

【主な関連する科目】

社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ～Ⅳ、ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅴ など

【教科書等】

最新 社会福祉士養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]、中央法規、2021。

【参考文献】

必要に応じて、講義の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

講義・演習への参加態度（主体的な授業参加態度を重視する）10%、提出課題・レポート 30%、定期試験 60%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

社会福祉士・精神保健福祉士として障害者就労支援施設、地域包括支援センター、不登校・ひきこもり家族会での支援の実践の経験から、ソーシャルワークにおける連携や協働の重要性を学び、事例を分析できる力を習得する。また、国家試験を意識した講義も行う。

【学生へのメッセージ】

ソーシャルワークの実践においては、理論を丁寧に習得し、それを実践で活かせる能力が必要となります。一つずつ丁寧に習得をしていきましょう。